

# 大阪人間科学大学紀要 執筆要項

## 1. 書式と提出方法

原稿の書式は、A4サイズ・横書きで、和文の場合1行40字の40行、英文の場合80字の1段組みとする。行間は1.5行間とする。

提出は、タイトルページ、和文抄録、本文（図・表を含む）、引用文献、英文抄録、表（タイトル入り）、図（図説入り）の順とする。

原稿の枚数は、16枚以内（ただし、編集用の図・表を除く）とする。

➤原稿の1ページ目はタイトルページとして、以下の事項を記載すること。

- (1) 論文タイトル（和文）
- (2) 著者名（和文）
- (3) 著者所属（和文）

➤原稿の2ページ目は和文抄録ページとして、以下の事項を記載すること。

- (1) 和文要旨（600字以内、原著論文等においては、「目的」「方法」「結果」「結論」に分けて記載すること）
- (2) キーワード（5つ以内、和文）

➤引用文献の次ページは英文抄録ページとして、以下の事項を記載すること。

- (1) 論文タイトル（英文）論文タイトル・サブタイトルはキャピタライゼーションすること
- (2) 著者名・職域表示・学位（英文）例：Taro NINKADAI, RPT, MS, Hanako SETTSU, RN, PhD など
- (3) 著者所属（英文）
- (4) 英文要旨（150語～250語、原著論文等においては、(Objectives), (Methods), (Results), (Conclusions)に分けて記載すること）
- (5) キーワード（5つ以内、英文）
- (6) 学術研究委員会は、英文抄録の掲載にあたり、表現上の確認を目的として翻訳支援AI等のツールを参考にすることがある。

➤ランニングタイトル（欄外表題）

ランニングタイトルとは、各ページの欄外に掲載する短い表題とする。本文が日本語の場合には25字以内、英語の場合には15語以内とし大文字表記とする。ランニングタイトルは、投稿論文整理票に記入し提出すること。

## 2. 本文・図・表の表記

本文・図・表は原則として和文とし、やむを得ない場合以外は外国語を用いないものとする。ただし、英文論文も受理する。

図表の位置は、本文中に明記し、図表を挿入すること。その際、その位置の図表にはタイトル、図説を記載すること。

また、本文内の図・表（カラー可）は、英文抄録の後に別途、表、図の順に1点ずつ添付すること（編集用）。

日本語化した外国語はカタカナで書き、人名・地名・薬品名等は原語を用いること。

外国語の頭文字は、固有名詞及び文頭の場合を除き、すべて小文字とすること。

表は編集可能な、ワードまたはエクセルで作成。図はJPEG, TIFFファイルで作成すること。

## 3. 引用文献

文献は引用順とし、本文中では右肩に番号を付け、本文の最後に、引用番号順に記載すること。

「引用文献」と「参考文献」の区別はせず、一括して「引用文献」として扱い、引用順に番号を付すこと。

共著者については6名までは全員を記載し、7名以上の場合は、「ほか」又は「et al」とすること。

## ➤記載例

- (1) 雑誌掲載論文： 著者名. 論文表題. 雑誌名. 発行西暦年；巻(号)：最初のページ数-最後のページ数

例： 山田太郎, 小川次郎, 田中一郎, 鈴木松子, 佐藤桜, 山本梅子ほか. 我が国における福祉の現状に関する研究. 日本福祉学会誌. 2022;102(1):15-22

Yamada T, Ogawa J, Tanaka I, Suzuki M, Satou S, Yamamoto U et al. Study for current status of social assistance in Japan. Jpn J Soc Assis. 2022;102(1):15-22

※引用ページ数が未確定の場合は、投稿中 又は 印刷中 と表記する。2022;102(1):投稿中 又は 2022;102(1):印刷中

- (2) 単行本： 著者名. 書名(版数). 出版社名. 発行西暦年, ページ数

例： 山田太郎, 小川次郎. 日本の福祉(第5版). 摂津出版. 2022, 15-22

Yamada T, Ogawa J. Social Assistance of Japan (5<sup>th</sup> ed). Settsu Publishing. 2022, 15-22

※引用ページ数を特定しない・図書全体から引用した場合は、引用図書の1ページから最終ページを記載する。2022, 1-234

- (3) 単行本中の論文：著者名. 論文表題, 書名(版数 ただし初版は省略). 編者名. 出版社名, 出版地名, 発行西暦年, 開始ページ-終了ページ

例：片岡邦好. 行為と知覚のナラティブーテレビCMのマルチモーダル分析から一, ナラティブ研究の最前線—人は語ることで何をなすのか—. 佐藤彰, 秦かおり編. ひつじ書房, 東京, 2013, 273-293

- (4) 翻訳書：原著者名/訳者名, 翻訳書の書名(版数), 出版社名, 発行西暦年, ページ数

例：Perry J, Burnfield JM / 武田功(統括監訳), 弓岡光徳, 森彩子, 村田伸, 溝田勝彦(監訳). ペリー歩行分析—正常歩行と異常歩行(原著第2版). 医歯薬出版, 東京, 2012, pp. 70-82.

- (5) 電子文献：著者名(もしくはサイトの管理者または団体名名称), タイトル, (閲覧日, URL.)

例：内閣府, 阪神淡路大震災教訓情報資料集—阪神・淡路大震災の概要, (閲覧日 2024年7月8日, [https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/hanshin\\_awaji/earthquake/](https://www.bousai.go.jp/kyoiku/kyokun/hanshin_awaji/earthquake/).)

## 4. 略語の表記・学術用語の使用

原則としては略語を用いず、やむを得ず使用する場合は、その初出箇所では内容を明記すること。

学術用語等は、文部科学省、JIS規格、関連学会などで定めたものに準拠し、度量衡の単位とその表記法は、特に必要な場合を除き、原則として国際単位系(SI)を用いる。

## 5. 引用転載

他の文献から文章・図・表などを引用転載される場合には、事前に著作権者の承諾を得ること。また、著作権に関わる問題や法令上の手続きで取得した許諾書等は、原稿提出時に提出すること。

著作権者との交渉は、投稿者の責任において対応すること。

## 6. 倫理性への配慮及び個人情報保護

個人情報保護に十分配慮し、個人氏名、イニシャル等は記載しないこと。研究内容は必ず、倫理性に配慮されたものとする。特に、ヒトを対象とする研究においては、事前に研究倫理に関する審査を受け、投稿論文にその旨を記載すること。

例：「本研究は、大阪人間科学大学倫理審査委員会において、審査、受理されたものである(承認番号〇〇)」

## 7. 利益相反(COI)の開示

当該論文すべての著者における利益相反(COI)の有無をCOI申告書(別添)にて申請すること。

申告書は原稿提出時に提出すること。

## 8. 論文提出

執筆論文はワード版で作成し、図表は本文に挿入のうえ、表はワード、またはエクセル版として、また、図は JPEG, TIFF ファイルとして添付すること。やむを得ない場合以外は、紙媒体での提出は受け付けない。

提出先：学内の場合 所属学科の学術研究委員会委員宛て

学外著者の場合 gaku.jutsu.kenkyu@kun.ohs.ac.jp 宛て

### 附則

この要項は、平成13年7月1日から施行し、平成13年4月1日から適用する。

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

この要項は、令和4年11月24日から施行する。

この要項は、令和5年7月27日から施行する。

この要項は、令和6年4月1日から施行する。

この要項は、令和6年11月1日から施行する。

この要項は、令和7年4月1日から施行する。

この要項は、令和8年4月1日から施行する。

## 大阪人間科学大学紀要における利益相反（Conflict of Interest：COI）の開示について

研究の成果の発表は、著者らの業績になるだけでなく、読者らに大きな影響を与える可能性があります。そのため、著者らは、研究の成果を発表する際には、その成果にバイアスがかかっているかを判断する材料となるよう利益相反（Conflict of Interest：COI）の開示が求められます。

大阪人間科学大学発行の大阪人間科学大学紀要においても、昨今の研究倫理を鑑み、投稿時に、利益相反（Conflict of Interest：COI）についての記述を必ず表記するよう、投稿者に求めることとなりました。

以下、具体的な例を示します。

### ・利益相反がない場合

（例） なお、本論文に関して、開示すべき利益相反関連事項はない。

The authors declare no conflicts of interest associated with this manuscript.

The authors have no conflicts of interest directly relevant to the content of this article.

### ・開示すべき情報がある場合

（例） 第1 著者は、「企業名」より、報酬を受理している。

本研究は、著者が所属する「企業名」の研究費で、実施された。

This study was funded by [企業名].

XXX, YYY, and ZZZ [該当する著者名] received honorarium from [企業名].

AAA, BBB, and CCC [該当する著者名] are employees of [企業名].

なお、開示すべき利益相反があったとしても、それが投稿の妨げとなることはありません。

## COI 申告書

論文名：

著者名：

申告：

1. 上記著者は、本論文に関して、開示すべき利益相反がない

2. 開示すべき利益相反がある

3. 2 の場合の具体的内容

①著者は、「企業名」より、報酬を受理している。

②その他

上記内容に相違ありません。

年 月 日

自書名